

事前お知らせ



## 石神井公園ふるさと文化館生まれの ゲンジボタル鑑賞会「ホタルの夕べ」を開催

と き 6月21日(金)・22日(土) 午後7時30分～9時

と ころ 区立石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16)  
※西武池袋線石神井公園駅下車徒歩15分

21日(金)と22日(土)夜、石神井公園ふるさと文化館にて、館内の生育環境展示コーナーで育ったゲンジボタルの鑑賞会が行われる。今月に入ってから30匹あまりの羽化が確認され、区内在住のホタル研究家の解説のもと、午後7時30分から9時(最終入場午後8時45分)の間、お披露目となる。申込みは不要。入場料は無料。

「ホタルの夕べ」は平成23年から始まり、今回で3回目。去年は639名が見学し、ふるさと文化館の夏の風物詩であり、人気企画である。

なお、ふるさと文化館では、ホタルの生態について、写真パネル約30枚で紹介する企画展を、1日より2階ギャラリーにて開催中。発光している成虫の写真だけでなく、産卵の様子や幼虫の写真などを、7月31日まで展示している。入場無料。

### 【ギャラリー企画展概要】

夏の風物詩として美しいイメージのホタル。しかし、その一生はわずか1年あまりしかない。水中や地中で1年弱を過ごした後、成虫として飛び回り、夜空を幻想的に彩ることができるのは約10日から2週間であり、その儚さは、ホタルの放つ光に神秘性を与える。その光は、無事成虫まで生き抜いた証であり、生命の輝きといえる。

昭和20年代後半頃までは、夏が訪れると、同館から程近い石神井公園三宝寺池では、多くのホタルが不思議な光を放ちながら飛んでいたという。今ではすっかり見られなくなってしまった光景であるが、これら写真を通じて、ホタルの儚くも美しい生命の輝きや自然の大切さをぜひ感じ取っていただきたい。

なお、展示写真は、区内在住のホタル研究者である名児耶徳秀(なごやとくひで)氏が撮影した。

【問い合わせ】区立石神井公園ふるさと文化館  
電話03-3996-4060



発光しているホタル



産卵中のホタル